

銀漢亭日録

伊藤伊那男



- 12月26日(木)▼夜中、四時頃の体温、三十五、四度。冬眠では無いのだが……低い。桃さん入手の鯛の尻を煮、ほうと煮る。叩き、ほうも。常の朝食。昼、多摩の兄の家訪問。日野の姉、伊那谷の従兄弟、善文さん、亡妻の妹の夫、五日市征和さんも駆けつけてくれて忘年会。兄、料理の腕を上げていて、牡蠣、ムール貝の料理。信州の大晦日に食される鯛の酒粕煮、また、おでんの大根、里芋のうまいこと！野菜は全て兄嫁の栽培。私はずからすみの初物持参。信州からは野沢菜、するめと人参の麴漬、甘酒他。善文夫人の作品が、十七時近くまで楽しい時間を過ごす。
- 27日(金)▼昨日、レンジを買った。鯛の子、人参の麴漬作る。欠席した煤逃吟行の清記用紙送って貰い、選句を楽しむ。特選句に染筆を用意。昼、桃子の手配で、祖母ヶ谷大蔵の米糠酵素風呂、酵素風呂でくたり。蕎麦食べて昼寝。
- 28日(土)▼丹波黒豆を煮る。一日のんびり、寝たり起きたり。体温上っている。昼、ボンカレー。夜、鯛の兜煮、寿司少々。長芋の付け焼き海苔包み。
- 29日(日)▼なます作る(だいこん、京人参煮、干し椎茸、柚子)。昼、桃子のカレ。夜、気仙沼から取り寄せた牡蠣。
- 30日(月)▼叩きこぼう作る。「銀漢」新年俳句大会の選句を大野田さんに投函。散歩がてら銀行、買物等。夜、愛媛から取り寄せた河豚。私は雑炊待ち。旨い。牡蠣のバターソテー。
- 31日(火)▼朝食は河豚雑炊の残り、目玉焼、鯛の丸干、大根おろしじや、とろろ汁、大根の葉と油揚げの煮びたし、薩摩芋甘煮。昼、果物。夜、近所の中川家訪問。四家族で十七人?の恒例の忘年会。久々の面々。
- 令和7年1月1日(水)▼十二時に家族全員で新年会。とっておきのプロセス
- (ジャコ、鯉、ホッケ、鱧蒲焼、若布、筋子、鯨開き他)、十八時、池之端の「鳥楽」。若い頃よく通った軍鶏鍋屋。二十年振り位か。娘達を小さい頃連れてきていたのだが、記憶に無さそう。旨い!最後に御飯にスープレを掛けて食べるが、その頃、何杯もお替りをして、女将さんから「両国から来た方みたいですね」と言われたものだ……。
- 10日(金)▼調布の俳句講話「京の食物」のレジメ作成。午後はぐずぐず過ごす。
- 11日(土)▼十一時、発行所にて「運営委員会」。午後、麴町区民館にて「銀漢本部句会」。四十八人。夜、朝作つておいた豚汁、大根煮など。
- 12日(日)▼昼過ぎ、加々美先生の整体。B君さんの句集稿二度目の点検。
- 13日(月)▼「109シネマズ三子玉川」にて「室町無頼」(大泉洋堤真一)を見る。新年俳句大会用の色紙染筆。二十枚ほど作っておく。華子さん成人式。
- 14日(火)▼常の朝食。昼、娘の作ったハヤシライス。夜、ケンタッキーフライドチキン。今迄食べたくないものだったが……。一ピース食す。作句。「火の会」は休む。家籠り。
- 15日(水)▼東京目白クリニクの大場大院長の著書一冊を読む。夜、オイル漬にしていた牡蠣のバスタ、林檎、紅はるか。
- 16日(木)▼午後、順天堂。CT検査。十八時、麴町区民館にて「銀漢句会」。帰宅してちらし寿司。おしるこ。
- 17日(金)▼調布で俳句講話。「京都の食物と俳句」。あと喫茶店で話。仙川で白子干、トマト、芽キャベツ、べつたら漬、豆腐など買って帰宅。
- 18日(土)▼「春耕新年俳句大会」の選句(応募五四句)稿投函。午後、米糠酵素風呂。数句会の選句。
- 19日(日)▼終日家。読書、テレビ、転寝とのんびりした一日。

- ここで乾杯。お節料理、白味噌雑煮。夕方、杏子一家来宅。新年会。杏持参のステーキを焼く。中川家から戴いた蟹二種類の内、たらばの雑炊。
- 2日(木)▼薩摩芋のきんとんを作る。定番の朝食のあと甘酒ときんとん。何とも幸せな組合せ。家族で喜多見の水川神社へ初詣。戻って気仙沼の牡蠣でオイスターチャウダー。ニンク醬油焼のオリブオイル漬を作っておく。昼、すまし汁の雑煮。
- 3日(金)▼家族は宮澤の実家。テレビ、読書、作句、転寝の一日。夜、湯豆腐。
- 4日(土)▼午後、映画「鹿の国」(北村皆雄プロデューズ)を見ようと、「ポレポレ東中野」に行く、と、切符売切れと!七日に出直しとする。新宿御苑を久々散策し冬の景色を楽しんで戻る。夜、笹身と芹の辛子和えなど。
- 5日(日)▼昼、祖母ヶ谷大蔵の米糠酵素風呂。「オオゼキ」で買物。昼寝。夜、トンカツ少々。長芋焼海苔包み。
- 6日(月)▼R.Kさんの句集稿点検。武田編集長に投函。九時、東京目白クリニク。血液検査。肝臓数値、白血球も正常値に戻っており、三時間点滴治療。戻ってみどり、寿司のちらし、おしるこ(餅一ツ)、甘酒の昼食。あと薬による疲れが外出着のまま、フアで熟睡。夜、茶漬他。
- 7日(火)▼朝、「俳句てふてふ」のエッセイ本書く(春筍)。十四時、ポレポレ東中野で「鹿の国」鑑賞。夜、七種粥、ぜんざい。
- 8日(水)▼「銀漢」二月号の校正作業。各句会の幹事の報告が楽しい。アマイクの中川さん来てくれて短めに散髪。十八時、夕焼け酒場二階にて「宙句会」の初句会に招かれる。久々、話弾む。
- 9日(木)▼「俳句てふてふ」のエッセイもう一本(路の臺)。午後、米糠酵素風呂。「オオゼキ」で買物。十七時、桃子、杏子とアメ横で待合せ。色々買う。
- 20日(月)▼九時、目白クリニクにて四回目の化学療法受ける。今回は途中から眠い。帰宅して夕方まで眠る。
- 21日(火)▼妻の命日。順天堂。採血、採尿、齋浦先生と面談。肝臓の転移癌は九月には判断不可の大きさ→十一月センチで癌確定。十二月にセンチと倍増したが、今回二センチの同じ大きさにとどまった。鱧登りの腫瘍マーカーは下降に転じており、この一月間の化学療法は効果があったようだ、と。十八時、娘二人と代々木八幡のイタリア料理店。「Brutto」。孫の莉子のアルバイト先。久々のイタリア料理。五六種の料理を完食する。
- 22日(水)▼数句会の選句。「銀漢」の選句。汁粉がうまい。
- 23日(木)▼「銀漢」の選句。数句会の選句。煮大根、薩摩芋甘煮、ステーキ少々、京都から来た千丸屋の引揚湯葉。
- 24日(金)▼「銀漢」二月号の選句、エッセイ終える。選評は無しとして貰う。だがなかなかの力仕事であった。伊那谷の従兄から、寒餅、野沢菜、沢庵、甘酒、瓜の粕漬他、懐かしい食物が届く。千丸屋の湯葉の含め煮。
- 25日(土)▼十一時、日本橋「日本料理 吉」にて「纏句会」。今日は九人と少ない。終って山本海苔店でお茶漬の素二種を買う。R.Kさん句集最終点検。
- 26日(日)▼十二時、「アルカディア市ヶ谷」。「銀漢年次総会、新年俳句大会」。九十四名参加。北村皆雄監督来て下さる。私は和服で出席。病気の経過などを報告。皆さんから声援を戴く。力を戴く。
- 27日(月)▼午後「米糠酵素風呂」。
- 30日(木)▼オオゼキで買物。昼娘二人と華子を手連れて祖母ヶ谷大蔵の天麩羅店「栗天」。京都行きの手合せ。